

1. 教育計画

成人看護学

分野	専門分野Ⅱ 成人看護学	科目名	成人看護活動論Ⅳ 終末期における看護
単位・時間	1単位・15時間（授業 14時間）	対象学年	2年生
方法	講義、グループワーク	時期	後期
講師名（担当時間数）	法人講師 尾形 育恵（14時間）		
学習目標	終末期における看護の方法を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	メディカ出版：NG 緩和ケア 成人看護学（6）		
参考文献			
履修上の留意	提出物は提出期限を厳守すること 試験の受験資格：規定時間の講義への出席		
講師からの メッセージ	死にゆく患者自身の苦痛、大切な人を喪失する家族の苦痛を理解した上で、最期の貴重な時間に私たち看護師はケアとして何が提供できるのか、どのような姿勢が大切なのか、緩和ケアも踏まえ学習できればと思います。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	1. 終末期とは（総論）	<ul style="list-style-type: none"> 終末期・緩和ケアとは？ 死に関する日本の文化・データなど 	講義	
2	2	2. 終末期にある人の特徴と理解	<ul style="list-style-type: none"> 患者の身体的特徴、心理的・社会的・霊的特徴、トータルペインとは 死にゆく方に対する態度 	講義	
3	2	3. 症状マネジメントとは	<ul style="list-style-type: none"> 症状マネジメントについて がん性疼痛とは 疼痛コントロール方法（ラダーとは） 疼痛管理における看護師の役割 	講義	
4	2	4. 症状マネジメント：疼痛	<ul style="list-style-type: none"> 事例から学ぶ 疼痛コントロールが困難な事例 	講義 GW	
5	2	5. 家族ケア	<ul style="list-style-type: none"> 予期的悲嘆とは 悲嘆へのケア（グリーフケア） 看取り、エンゼルメイクについて 	講義	
6	2	6. 全人的苦痛トータルペイン	<ul style="list-style-type: none"> トータルペインとは（復習） 事例をもとにアセスメントの仕方やケアについて考察 	講義 GW	
7	2	7. 終末期の在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> 医療制度について（今後の展望） 日本の在宅死について 在宅ケアにおける看護師の役割 	講義	
8	2	評価	筆記試験		